

## 武蔵野市子どもと子育て家庭への支援のあり方検討有識者会議（中間報告）について

第六期長期計画及び第五次子どもプラン武蔵野に基づき、新たな複合施設の必要性の検討を行っている。

令和 3 年 5 月 10 日に、子どもと子育て家庭への支援のあり方検討有識者会議（以下「会議」という。）を設置し、現在検討が進められている保健センター大規模改修及び本設移転後の既存建物の利活用を想定し、検討を行った。今後も引き続き会議での検討を行う予定であるが、新たな複合施設の必要性については、一定議論がまとまったため、これまでの会議の検討結果について、中間報告を行う（詳細は別添の報告書参照）。

### 1 会議の設置理由

令和 2 年度に実施した、子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設庁内検討委員会の検討結果を踏まえ、子どもと子育て家庭への望ましい支援のあり方及び新たな複合施設の必要性等の検討を行うため。

### 2 検討事項

- ①子どもと子育て家庭への望ましい支援のあり方に関すること。
- ②子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設の必要性に関すること。
- ③上記②で新たな複合施設の必要性が認められた場合の、施設に必要な機能や規模、仕様などに関すること。
- ④その他市長が必要と認めること。

### 3 設置期間

令和 3 年 5 月 10 日から令和 4 年 3 月 31 日まで

### 4 会議での検討（中間報告）

- (1) 子どもと子育て家庭へ望ましい支援を行うための複合施設の必要性について  
会議では、複合施設を置くことのメリット及び留意点が以下のとおり示された。

#### ①メリット

- ・関係機関の連携強化が期待される。
- ・ライフステージを通じた一貫した支援が可能になる。
- ・相談機能の集約、総合相談窓口の設置が可能になる。
- ・支援情報の一元化が可能になる。

#### ②課題

- ・地域連携の仕組みづくりが必要である。
- ・アウトリーチの体制強化が必要である。

複合化によるメリットは大きく、子どもと子育て家庭への支援に関する新たな複合施設の必要性は認められるとの結論に至った。

## (2) 複合施設を設置する際の基本的な考え方

### ①基本的な視点

- ・既存の必要な支援・良い取組みは残す。
- ・啓発や予防も含めた全体的なシステムを考える。
- ・誰でも利用できるというメッセージを発信する。

### ②連携システムの拠点

### ③重層的な支援

### ④誰ひとり取りこぼさないような支援

### ⑤ユーザー目線

## (3) 複合施設に求められる機能

### ①複合施設において中心となる機関

### ②その他、複合施設に含むべき機能

### ③機能を考える際に重要な要素

## 5 会議の今後について

上記のとおり、子どもと子育て家庭への望ましい支援を行うためには、複合施設の必要性が認められるとの結論に至った。

今後の会議においては、引き続き子どもと子育て家庭への支援のあり方について検討を進める。市として複合施設を設置する方針であれば、会議において挙げられた複合施設に求められる機能について、具体的に精査を行う予定である。

担当課 子ども家庭部子ども子育て支援課